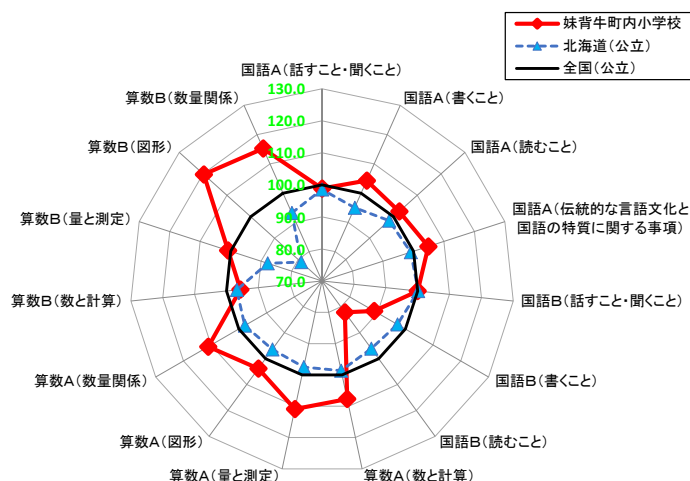


■妹背牛町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:19人)

【教科全体の状況】

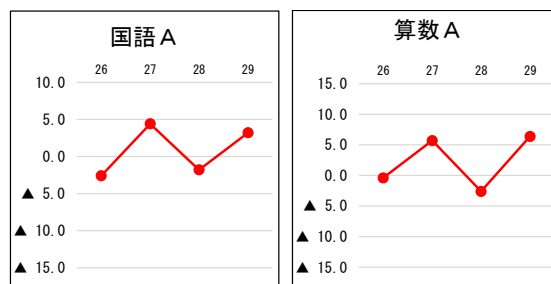
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

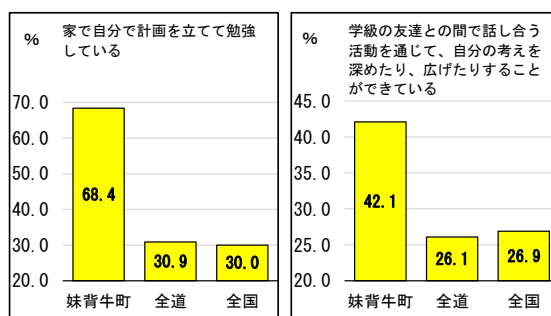


【平均正答率の全国との差の推移】

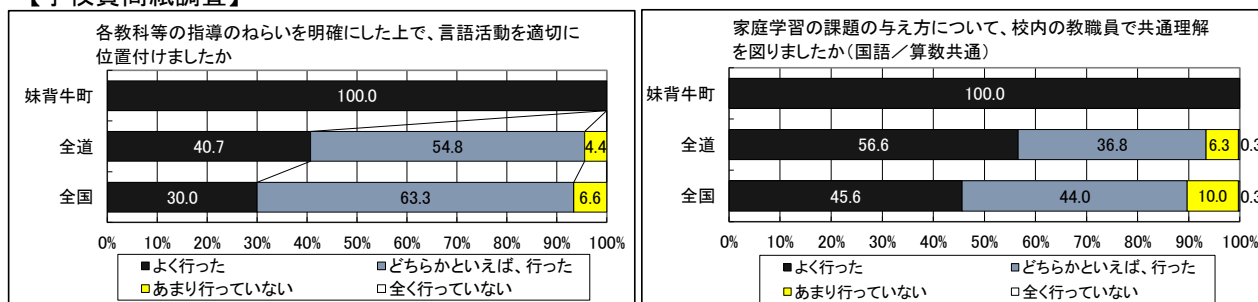
※「平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、すべての領域、Bでは、「量と測定」「図形」「数量関係」で全国を上回っている。	○ 各教科等の指導のねらいを明確にした言語活動を位置付けた授業を行った結果、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回っている。 ○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童の割合が全国を上回っている。	○ 習熟度別学習によるつまずきの見られる児童への指導の充実と全校で統一して、漢字・四則計算等に取り組みせる朝学習などの実施により、国語Aと算数Aで全国の平均正答率を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた。 ○ 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った。	○ 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った結果、家で自分で計画を立てて勉強する児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【妹背牛町の学力向上策】

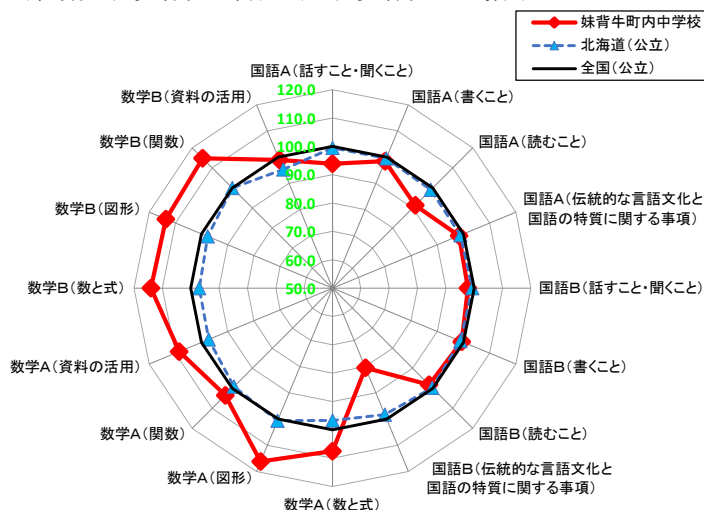
◎ 国語科で育てた表現力を教科横断的に活用し、「汎用的学力」として定着 ◎ T・Tや習熟度別学習でつまずきの見られる児童への指導の充実による学力の定着と底上げ ◎ 全校で統一した計画的な朝学習などによる基礎・基本(漢字・四則計算等)、「書くこと」の指導の充実 ◎ 「総合的な学習の時間」における「郷土妹背牛」科の推進による基礎的・汎用的能力の向上 ◎ 中学校との連携による漢字検定及び町費による漢字検定・算数検定の全学年での実施 ◎ 高学年における英語の読み書きを導入した授業の実施、低学年、中学年での外国語活動(英語)の実施	
--	--

■妹背牛町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:24人)

【教科全体の状況】

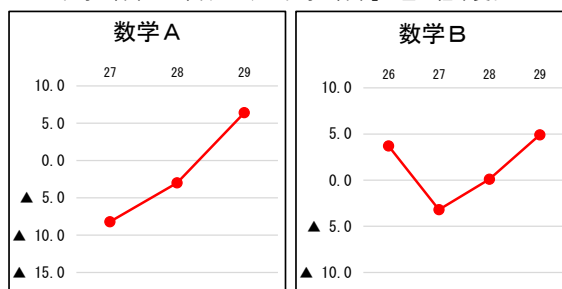
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

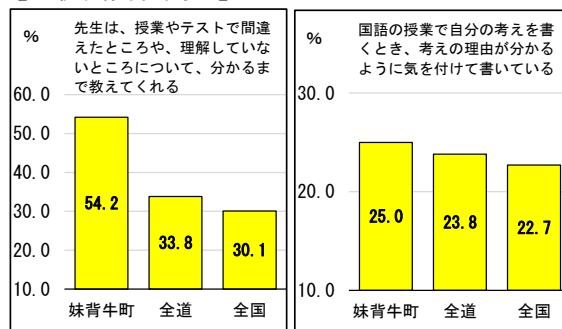


【平均正答率の全国との差の推移】

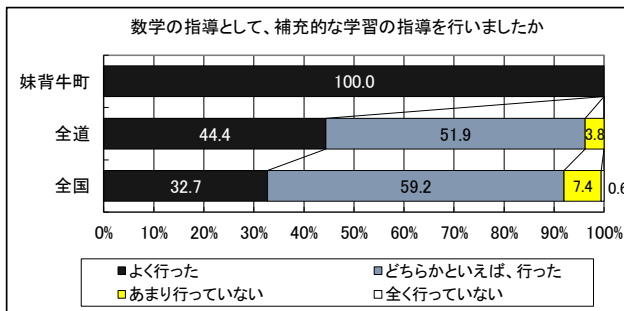
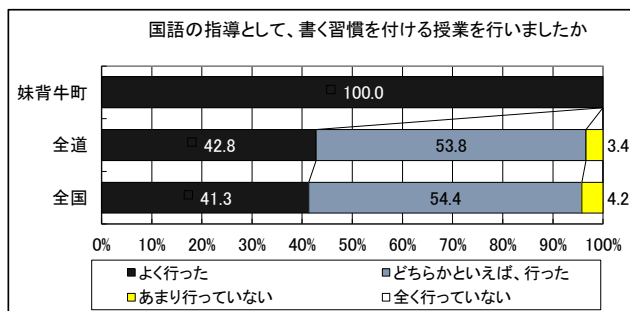
※「平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Bでは、「書くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学Aでは、すべての領域、数学Bでは、「数と式」「図形」「関数」で全国を上回っている。	○ 数学の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれると回答した生徒の割合が増えるとともに、数学Aのすべての領域、Bの「数と式」「図形」「関数」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行った結果、自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書く生徒の割合が増え、国語Bの「書くこと」で全国に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行った。 ○ 数学の指導として、補充的な学習の指導を行った。	○ 授業改善に向け授業形態を統一するとともに、チャレンジテストを朝学習や宿題で活用した結果、数学A・Bで全国の平均正答率を上回ったと考えられる。

【妹背牛町の学力向上策】

- ◎ 生徒が見通しをもって授業に臨めるよう、全教科におけるシラバス等の活用
- ◎ 調査結果等の校内研修での活用、授業改善に向けた授業形態の統一
- ◎ 学習習慣を定着させるため、家庭学習の継続的な提出と点検、指導
- ◎ 3年生中心に補充的な学習を中心とした放課後学習の実施
- ◎ 廊下に特設コーナーを設置し、朝学習、宿題でのチャレンジテストや「アシストシート」の生徒による主体的な活用
- ◎ 長期休業中を中心とした学習相談日の設定(自習教室として実施)
- ◎ 授業における学習支援員を活用した個別支援の充実